

平成26年5月12日 資料

吹田貨物ターミナル駅調整会議資料

環境影響評価 冬季調査(抜粋)

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
国鉄清算事業西日本支社

●大気汚染 平成26年1月10日(金)～2月17日(月)

<二酸化窒素>

(単位: ppm)

地点No.	評価の基準値	工事前調査結果 (評価書調査結果)	評価書 予測結果	調査結果			
				冬季	春季	夏季	秋季
2	0.04～0.06 以下	0.028 (0.017～0.028)	0.026	0.019 (0.009～0.030)	0.010 (0.007～0.017)	0.011 (0.006～0.019)	0.015 (0.010～0.018)
7		0.026 (0.014～0.033)	0.025	0.020 (0.005～0.043)	0.011 (0.003～0.036)	0.011 (0.005～0.022)	0.017 (0.003～0.032)
8		0.031 (0.021～0.031)	0.027	0.022 (0.011～0.033)	0.013 (0.009～0.022)	0.014 (0.010～0.019)	0.018 (0.014～0.021)
13		0.024 (0.015～0.032)	0.025	0.022 (0.004～0.046)	0.013 (0.002～0.035)	0.011 (0.004～0.021)	0.018 (0.005～0.036)
14		0.033 (0.024～0.033)	0.031	0.020 (0.012～0.030)	0.015 (0.011～0.022)	0.012 (0.010～0.015)	0.018 (0.014～0.021)
15		0.032 (0.023～0.032)	0.030	0.020 (0.009～0.031)	0.016 (0.010～0.023)	0.013 (0.010～0.015)	0.017 (0.013～0.020)

<浮遊粒子状物質>

(単位: mg/m³)

地点No.	評価の基準値	工事前調査結果 (評価書調査結果)	評価書 予測結果	調査結果			
				冬季	春季	夏季	秋季
7	0.10 以下	0.017 (0.017～0.037)	0.030	0.017 (0.002～0.042)	0.022 (0.004～0.054)	0.040 (0.015～0.068)	0.018 (0.004～0.061)
13		0.019 (0.019～0.037)	0.031	0.020 (0.004～0.049)	0.020 (0.004～0.048)	0.039 (0.016～0.067)	0.017 (0.002～0.056)

(注) 1. 工事前調査結果は、「吹田貨物ターミナル駅(仮称)建設事業に係る環境影響評価書(平成17年1月)」に記載の調査結果(平成12年12月～平成13年11月の値)であり、下記のとおり示している。

- ① No.7地点及びNo.13地点(公定法による測定): 1月月平均値(月別平均値の最小値～最大値)
- ② その他の地点(PTIO法による測定): 冬季期間平均値(四季別平均値の最小値～最大値)

2. 調査結果は、下記の値を示している。

- ① No.7地点及びNo.13地点(公定法による測定): 期間平均値(日平均値の最小値～最大値)
- ② その他の地点(PTIO法による測定): 期間平均値(一週間平均値の最小値～最大値)

●騒音 平成26年1月15日(水)8時～1月16日(木)8時

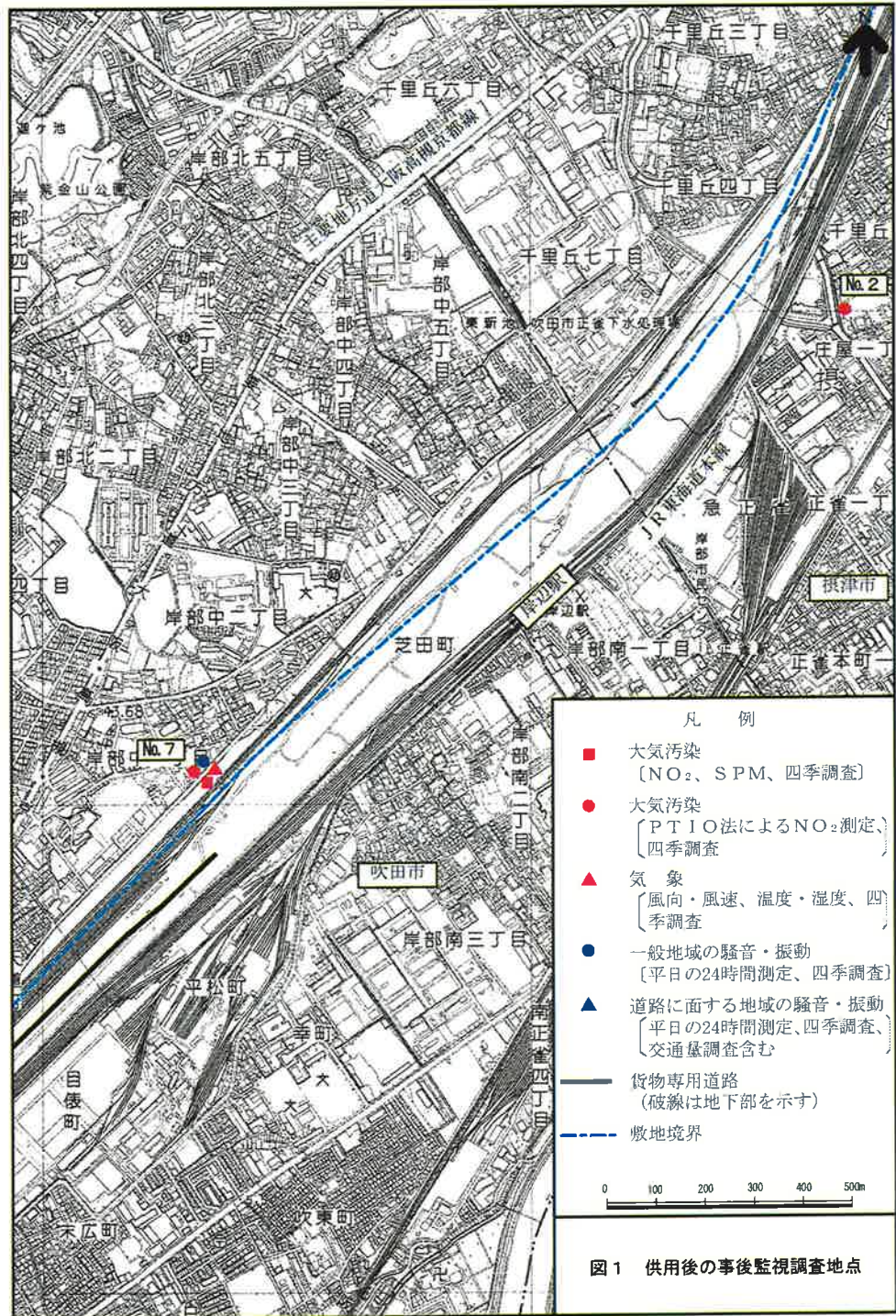
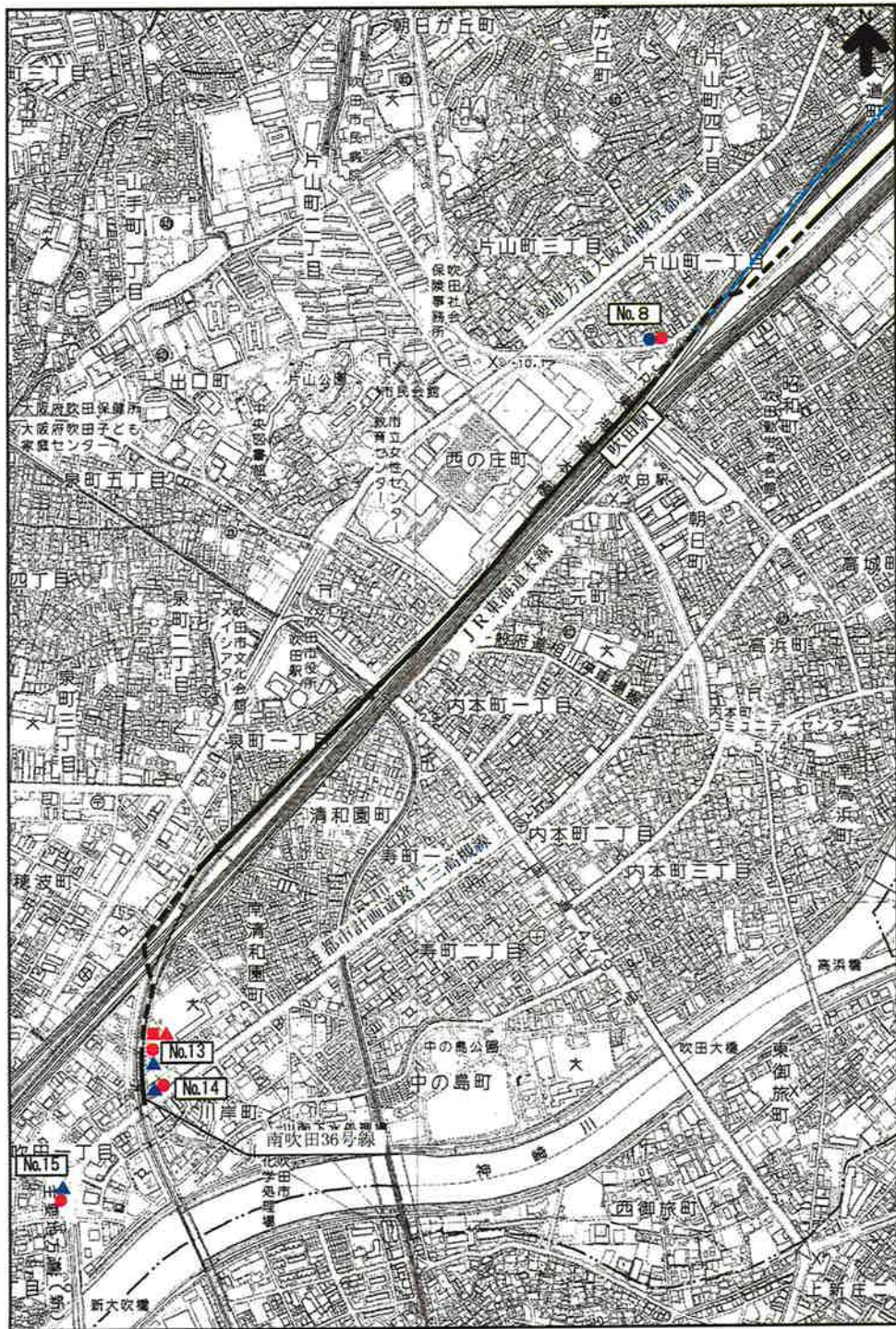
地点No.		等価騒音レベル(デシベル)													
		昼間(6～22時)							夜間(22時～翌日の6時)						
		評価の 基準値	工事前 調査結果	評価書 予測結果	調査結果				評価の 基準値	工事前 調査結果	評価書 予測結果	調査結果			
					冬季	春季	夏季	秋季				冬季	春季	夏季	秋季
貨物駅施設の稼働	7	55以下	57	58	56	55	53	52	45以下	52	53	47	50	47	49
貨物関連自動車の供用	8	60以下	62	62	58	58	57	57	50以下	61	61	54	52	52	51
	13	55以下	58	58	58	59*	57	58	45以下	54	54	53	53	54	52
	14	70以下	67	68	65	63	63	64	65以下	61	61	58	58	58	57
十三高槻線の供用	15	70以下	66	69	65	63	64	65	65以下	60	62	58	57	57	59

(注) 1. 工事前調査結果は、評価書の調査結果を示す。
2. *は、評価書予測結果を上回っていることを示す。

●振動 平成26年1月15日(水)8時～1月16日(木)8時

地点No.		振動レベルの80%レンジ上端値(デシベル)													
		昼間(6～22時)							夜間(22時～翌日の6時)						
		評価の 基準値	工事前 調査結果	評価書 予測結果	調査結果				評価の 基準値	工事前 調査結果	評価書 予測結果	調査結果			
					冬季	春季	夏季	秋季				冬季	春季	夏季	秋季
貨物駅施設の稼働	7	55以下	<30	41	30	<30	<30	<30	55以下	<30	41	<30	<30	<30	<30
貨物関連自動車の供用	8		38	(37)	34	33	33	34		34	(<30)	<30	<30	<30	<30
	13		34	(41)	36	36	36	37		<30	(31)	30	30	<30	<30
	14		45	(41)	43	42	42	43		34	(31)	32	32	31	32
十三高槻線の供用	15		40	45	41	42	41	43		32	39	33	33	32	32

(注) 1. 工事前調査結果は、評価書の調査結果を示す。
2. 「<30」は、30デシベル未満であることを示す。
3. ()内は貨物関連自動車のみの寄与を示しており、参考値であることを示す。



凡例

- 大気汚染
〔NO₂、SPM、四季調査〕
- 大気汚染
〔PTIO法によるNO₂測定、
四季調査〕
- ▲ 気象
〔風向・風速、温度・湿度、四
季調査〕
- 一般地域の騒音・振動
〔平日の24時間測定、四季調査〕
- ▲ 道路に面する地域の騒音・振動
〔平日の24時間測定、四季調査、
交通騒音調査含む〕
- 貨物専用道路
〔破線は地下部を示す〕
- - - 敷地境界

0 100 200 300 400 500m

図1 供用後の事後監視調査地点